



大川内町 まちづくり基本計画



みんなで創る明るく親しみのある町
緑と伝統を守る町 大川内町

令和6年3月
大川内町まちづくり運営協議会

大川内町まちづくり運営協議会の組織図

総会

- 活動（意思決定機関）
- ・ まちづくり計画の策定
- ・ 事業計画、予算等の作成
- ・ 地域の意見とりまとめ
- ・ 事業評価 など

事務局

大川内コミュニティセンター
（兼 地域学校協働
大川内本部）

運営委員会

- 会長・副会長
- 幹事
- 各事業部会正副会長
- 公募住民代表
- 事務局長
- 会計
- 監事

地域支援市職員

事業部会

地域活性化部会

- ☆区長会
- ☆振興協議会
- ☆自治公民館長会・主事会
- ☆せいら塾
- ☆JA 伊万里生産組合
- ☆JA 伊万里女性部
- ☆伊万里鍋島焼協同組合

いきいき交流部会

- ☆区長会 ☆スポーツ協会
- ☆青螺長寿会
- ☆自治公民館長会・主事会
- ☆子ども会育成会
- ☆社会福祉協議会
- ☆人権・同和教育推進協議会
- ☆食生活改善推進協議会
- ☆高齢者ふれあいサロン

安心・安全・環境部会

- ☆区長会
- ☆消防団大川内分団
- ☆交通対策協議会
- ☆交通安全協会
- ☆防犯協会
- ☆社会福祉協議会
- ☆小学校育友会

青少年育成部会

- ☆区長会
- ☆子ども会育成会
- ☆青少年育成町民会議
- ☆大川内小学校
- ☆小学校育友会
- ☆大川内保育園
- ☆社会福祉協議会

基本テーマ	課題の柱	活動（具体的な事業）
1 町民自らが取り組む 活気ある まちづくり	・ 若い世代の力を 地域活動に ・ 各種団体の連携 ・ 伝統文化の継承	◇農産物販売会の開催 ◇元気まつりの開催 ◇せいら活動の充実 ◇伝統芸能の継承
2 楽しく交流する まちづくり	・ 町民スポーツの 充実 ・ 生涯健康づくりの 推進	◇秘窯の里ふれあいウォーキング ◇人権教育・福祉活動の充実 ◇社会スポーツの振興（ニュースポーツ等） ◇各種イベントの開催 ◇ふれあいサロンの充実
3 安心して暮らせる まちづくり	・ 暮らし安全の確保 ・ 環境問題への 取り組み ・ 災害のない まちづくり推進	◇防犯対策（声かけ運動など） ◇交通対策（ストップマーク設置など） ◇災害対策（危険箇所見回りなど） ◇環境対策（ゴミ拾い・環境美化 看板作製など） ◇子どもみまもり隊の充実
4 子どもたちが明るく、 たくましく育つ まちづくり	・ 子どもの地域との 交流体験活動拡充 ・ 家庭教育の推進	◇サマースクールの開催 ◇田んぼの学校の充実 ◇お話小箱・家読の推進 ◇子ども会活動の充実 ◇親子ふれあい映画会・二十歳の 集いの開催 ◇高齢者と園児との交流

- 地域学校協働大川内本部の運営については令和6年6月開始予定です。
- この計画は、5ヶ年を目途に、各種事業の検証・見直しを図ることとしています。



サマースクール



ふれあいウォーキング



ゴミ拾い



農産物販売会



田んぼの学校（脱穀）



交通指導

町民憲章

- 一、大川内町民はお互いに思いやりの心を持ち、挨拶をかわし、明るい町づくりに努めましょう
- 一、大川内町民は伝統と文化に誇りを持ち郷土を愛し、心豊かな町づくりに努めましょう
- 一、大川内町民は交通マナーをこころえ、子どもや高齢者、障がい者を守り、安心・安全な町づくりに努めましょう

町のシンボルマーク



マークの意味

大川内町のシンボル「青螺山」の「青螺」を町木の「イチヨウ」の葉と町花の「シャクナゲ」の花弁の輪で羽ばたく様に囲み、町の発展と町民の融和を表す。

「青螺」と「大川内」の文字は青色でゴシック体、イチヨウの葉は黄色で、シャクナゲの花弁は桃色で表す。

町の花及び木

(1) 花名「シャクナゲ」

選定理由

青螺山に自生している。
また、「シャクナゲ音頭」等、大川内町の歌や踊りで親しまれている。



(2) 木名「イチヨウ」

選定理由

町内の神社、仏閣をはじめ、各所に生息している。



まちづくりを推進するにあたって

大川内町まちづくり運営協議会では、平成23年2月にまちづくりのための基本計画を策定し、これまで皆さまには、まちづくりのためにご理解とご協力をいただき多くの活動ができましたことを心より感謝申し上げます。

さて、まちづくり基本計画は、おおよそ5年を目途に各種事業の検証・見直しを図ることといたしております。今回は、令和2年度の公民館からコミュニティセンターへの移行、学校との連携による地域力強化を図るため、「地域学校協働に関する活動」を事業に加えるとともに、コミュニティセンターを「地域学校協働大川内本部」と位置付けるなど、組織および活動内容の検証、見直しを行いました。

これらを踏まえて、今後のまちづくりにおいては、これまで築きあげたものを基本的に継続させ、さらに発展・充実するよう努めてまいりたいと考えております。

このような観点から、今後の大川内町まちづくり基本計画を策定いたしましたので、ご確認いただき、これまで以上に町民の皆さまのご理解とご協力、ご支援をお願いしまして、新たなまちづくりの出発としたいと考えております。

令和6年3月

大川内町まちづくり運営協議会 会長 前川善治